

資料1 第1回防災部会での主な指摘と対応

指摘事項	対応
「レベル1、レベル2」は一般人にはわかりにくい。レベル1が防災、レベル2が減災だと思うが、用語の使い方を工夫した方が良い。	中央防災会議等、政府全体の検討を踏まえつつ、表現を検討
レベル1、レベル2について、「外力の設定レベル」の話と、「背後をどう守るか」の議論は分けて考えた方が良い。	津波のレベルと防護レベルとの関係を整理 (資料2)
「レベル2で壊れたからいらぬ」という極端な意見も出ている。レベル1でも小さい津波や高潮で機能していることを世間にアピールすべき。	レベル2での設計の目標を整理。また、レベル1でのシミュレーションを実施 (資料2)
求められる防護水準は、町の成り立ちや産業により変わる。シミュレーション精度が格段に良くなっているので、緻密な検討をお願いしたい。	複数パターンでのシミュレーションを実施 (資料2)
レベル1は、土木学会が数十年から百数十年と言っているように、ある程度自由度を持たせることが必要。	レベル1の定義を修正 (資料2)
レベル2では、ソフトだけでなく、避難を支援するハード施設も考えて欲しい。	避難対策について例示 (資料3)